



地域日本語支援ニュース こだま 第 379 号

2020.4.23



★—— メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます。——★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

★—— 皆様からのご意見、ご感想をお待ちしています。——★

編集部：<https://www.ajalt.org/local/soudan/contact.html>

====目次=====

1■ 新年度のご挨拶 ■

(公社) 国際日本語普及協会(AJALT)
理事長 関口 明子

2■ 今 役立つ情報 ■～日本語教室で使えるオンライン教材

=====

1■ 新年度のご挨拶 ■

公益社団法人 国際日本語普及協会(AJALT)
理事長 関口 明子

皆様 こんにちは。

いつもメールマガジン「こだま」をお読みいただきありがとうございます。多くの読者の皆様方に支えられ、2020 年度 4 月 379 号を迎えることができました。現在 2000 名を超える読者の皆さま（2020 年 4 月 1 日現在）にお読み

いただいております。

今年港区虎ノ門、神谷町の桜は満開でした。事務所の窓から見える桜はいつものように周りの景色をピンク色に変え、華やかな美しさに満ちていました。しかしその美しさははかなく悲しく見えました。

世界中で多くの人々が亡くなっています。文字通り世界中が同じ危機に直面しています。世界は一つ。運命共同体なのです。国同士が争うなどは愚かなことです。

世界中が一緒になってこの地球の平和のために努力する時が来たのです。

さて、今の日本の状況を見てみます。日本の戦略を一言で言えば、「クラスター潰し」という日本が世界で唯一採用している取り組みだそうです。それを担っているのが厚生労働省と国内の感染症の専門家30名からなる「クラスター対策班」です。そしてその中心となっているのが東北大学の押谷仁教授と北海道大学の西浦博教授です。2020年の2月25日から現在までこのクラスター対策班がコロナと戦ってきたやり方が「クラスター潰し」だったのです。新型コロナウイルスの感染連鎖が起きている可能性がある集団に注目し、限りある検査キットを集中して投入して、市中感染となりうる芽を未然に摘み取ろうというものです。日本の新型コロナウイルス対策については、「PCR検査の数が制限されていることから本当の感染者数が把握できていない」との批判が根強くある一方で、人口10万人当たりの死亡者数が世界的に見て非常に低いという興味深い事実が明らかになっています。

中国湖北省を発端とした"第一波"では、このクラスター対策班の非常にきめ細かい命がけの地道な対策によって武漢の近くの日本で他の国に比して驚くべき死者の数の少なさであり、第1波に関しては乗り切ったといえるとのことです。第1波の流行の残りに加え、3月以降に海外からの感染流入が激増したため、新たな波が起きたと考えられるとのことです。押谷教授によれば、日本は現在(2020.4.14)、感染流行の"第二波"のまっただ中にあるとのこと。今までのやり方は通じなくなってきているのです。今後は本気でひとり一人が危機意識をもって行動できるかにかかっているとのことです。非常事態宣言等で行われていることで、まず自分にできることを実行することです。

さて、このような状態のときにメールマガジンこだまのこの1年間の方向

性、テーマをこだまのメンバーが真剣に考えました。想定外の出来事を前にして、日本人、外国人ということではなく困難の中、日本で生きている人間として手を携え、助け合い、一所懸命できることを真剣に行動していくことではないか、そのためにまずはこの1年の大きなテーマを「日本で生きる」にしたいと思います。

これほど命の大切さを意識したことはありません。そして何でもない日常の生活、家族で出かける、友達と会う、毎日同僚と一緒に働く、同国人のイベントに参加する、日本語教室でボランティア活動をする、仲間とレストランで食事する等など。当たり前だと思っていたことができなくなった今、当たりの、普通のことがどれだけすばらしく、温かく、うれしいことだったのかがわかりました。皆様もそうではありませんか。どんなにありがたいことだったのかがわかりました。すべてに感謝が足りなかったことがわかりました。その一つひとつが小さなテーマになると思います。新型コロナウイルスとの戦いの中で、気づいたこと、考えたことなどを、

「私の思い」、
「日本で働く」、
「世界は一つ」、
「うれしかったこと」、
「今困っていること」、

何でもいいです。学習者の皆様にお聞きくださって、支援者の方がお書きくださっても結構です。できるだけ「日本で生きる」多くの方々の声をこだまにお寄せください。と言われても教室が再開できなければなかなかむずかしいですよ。

また、AJALT『こだま』からは、皆様に今だから必要な大切な情報を調べてお送りしたいと考えております。例えば今働いている会社で学習者が不当な扱いを受けたとします。日本人はそのままなのに、外国人だけ解雇されるというようなことがあったとします。このようなことは国として認められていません。そのほか全てにおいて、日本人と同様にという表現が入っています。以下をご覧ください。そして学習者の方々に知らせてあげてください。

厚生労働省 会社に雇われている外国人の皆様へ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/jigyo_unushi/page11_00001.html

最後に新型コロナウイルスに感染してお亡くなりになった人々、そのご家族に心からの哀悼の意を表します。また現在感染なされて、苦しんでいらっしゃる全ての方々、またその関係者の方々へ、心からのお見舞いを申し上げ、一日も早いご快復をお祈り申し上げます。また、コロナウイルス撲滅のために日夜がんばってくださっている医療従事者の方々にどう表現したらいいかわからないほどの感謝の気持ちを捧げます。ありがとうございます。

いまこそ力を出し合いましょう。情報の届いていない方々に情報を伝える努力を、申告しなければ届かないサポートの存在を知らせる努力をいたしましょう。

一緒に平和を勝ち取りましょう！
